

せんがまち 千框棚田 (菊川市)

菊川駅から北東へ約7キロ、牧之原台地の西斜面に広がる棚田は、約400年前から開田が始まりました。地元では昔から、千枚の田んぼという意味で「千框＝せんがまち」と呼ばれ、3,000枚以上の棚田がありました。一時は後継者不足、生産効率の悪さなどから9割が葦原となってしまいましたが、平成6年「千枚田を考える会」が設立されたのを機に、復田作業、保全活動が本格的にスタートしました。今では訪れる人々に、美しい「せんがまち」の風景を伝えてくれています。

また棚田に隣接して、ススキやヨシを茂らせている半自然の草地である「茶草場」も広がっています。「茶草場」で刈り取った草を茶園へ敷く「静岡の茶草場農法」は世界農業遺産にも認定されました。棚田と茶草場が隣接する地区はとて珍しく、この環境は「ニホンアカガエル」など希少な動植物を豊かに育てています。NPOせんがまち棚田倶楽部では、棚田オーナー制度や生き物教室などの体験プログラムを通じて、この美しい環境と豊かな生態系を訪れる人々に伝えていきます。



昭和40年代頃



地域で取り組まれている保全活動

オーナー制度

農業体験や収穫したお米がもらえる棚田オーナーを募集しています。一年を通じての農作業（春の田植え作業・田植え・草刈り・稲刈り）のほか、生き物教室、親子向けイベントの参加が可能です。詳しくは「棚田いこうよ.net (棚田1504.net)」をご覧ください。



イベント情報

竹灯籠やLEDライトであぜ道を照らす「あぜ道アート」。水面に揺れる灯りは、まるで過去～現在～未来を繋ぐ「棚田の道しるべ」のようです。多くの人の手によって守られてきた棚田の400年の歴史に思いを馳せ、一夜限りの幻想空間をお楽しみください。
・毎年3月開催・完全予約制
・詳細は「棚田いこうよ.net (棚田1504.net)」HP・SNSをご確認ください。



アクセス情報

住所：静岡県菊川市上倉沢

公共交通機関

JR菊川駅よりコミュニティバスを利用
「上倉沢公会堂」バス停下車

自動車

東名高速道路相良牧之原I.Cから約10分

新東名高速道路島田金谷I.Cから約15分

国道1号線バイパス島田市菊川I.Cから約5分



年間イベント・行事

3月	あぜ道アート
5月下旬	田植え
7月	紅茶づくり体験
8月	生き物教室
9月	スガイづくり体験
10月中旬	稲刈り
11月	茶草場農法体験
12月	しめ縄づくり 蕎麦打ち教室
随時	生き物教室

一押し情報

ふじのくに茶の都ミュージアム
Tel.0547-46-5588

日本一の大茶園である牧之原台地に位置する「ふじのくに茶の都ミュージアム」は、お茶の産業・歴史・文化を紹介する展示のほか、茶積み・手もみ体験や五感で感じる講座を行っており、子供から大人まで楽しくお茶について学ぶことができます。
展示には「茶草場コーナー」もあり、棚田周辺で取り組まれている世界農業遺産「静岡の茶草場農法」について学ぶこともできます。

